

鶴ヶ岡振興会新聞

発行元：鶴ヶ岡振興会
発行責任者：小畑 学
TEL:0771-76-9020
FAX:0771-76-9021

見事優勝！次は府大会

消防団員の技術を競う南丹市の大会が6月21日(日)、八木町の大堰川緑地公園で開かれました。

美山町の代表として出場した美山第4分団(鶴ヶ岡チーム)は、鶴ヶ岡分団の大会以降週3回の練習の成果を発揮して見事優勝されると

ともに、優秀選手として3名に個人賞が贈られました。

優勝チームは南丹市の代表として、8月30日(日)に京丹波町で開催される京都府消防操法大会に向けて質の高い訓練を継続されます。地域の皆さんの応援をよろしくお願いします。



●主要地方道綾部美山線促進協議会、総会を開催

6月27日(土)、第29回総会を豊郷公民館で開催し、西村南丹市長、岩本綾部市副市長、小中市議、振興会役員や沿線区長らの出席のもと、昨年度の事業報告・決算、今年度の事業計画や予算などが承認されました。

洞峠に道路が開通すれば、殿・二王温泉間は約17km(約36km短縮)、殿・綾部市立病院間は約36km(約7km短縮)となる見込みです。

協議会では、道路の開設要望のみならず、美山・綾部両側の交流を図り、将来に豊かな地域

を引き継ぐ準備も進めています。

今年の「洞峠の風にふれあう交流会」は10月25日(日)に開催する予定で、登山後の交流会は綾部側で行います。

地域の皆さんもぜひご参加ください。



サークル花づる

本年9月18日～11月8日まで、

第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波(京都丹波みどりの里まつり)が開催されます。

本サークルでは、美しい景観づくりでこのフェアを盛り上げ、京都丹波の魅力を来訪者が満喫できるよう花の植栽「おもてなし風景づくり交付金」を活用して、花壇を整備しました。

6月には14日と21日の2回作業日を設け、草引きや花畑に土・肥料入れをし、花苗の植え付

けを行いました。

「花づるの丘」やその周辺は、季節の花の紫陽花やベルガモットと共に、宿根草の黄色やオレンジ色の花も咲いています。更に、秋に映える葉物を植えたり新たにコスモス等の種をまいたりする予定です。

鶴ヶ岡振興会やたなせんにお出での折には、是非、皆さんもこの風景を楽しんでください。



まなづるサロン

～防犯意識を高めよう～

7月8日のまなづるサロンは、鶴ヶ岡駐在所の井筒さんに来ていただき、お話を聞きました。

日々の暮らしの中で、テレビでも繰り返し報道される詐欺事件や強盗といった事件が、身近な事なのか？と若干の不安を感じますが、現実味の無い事のようにも思われます。しかし、本町内でも数百万円の振り込み詐欺の事件が起きているとのお話は、衝撃的でした。私たちの地域には、ATMやコンビニはなく、このような事件に巻き込まれる可能性は低いものの、スマートフォンやパソコン等で買い物ができた

り、様々な人とつながりが持てる便利な時代です。便利な分だけ、リスクも抱えていることを承知しておかなくてはなりません。

皆さんからも、具体的な不審な電話などの話も出て、日々一層気を付けていこうと、気を引き締められたと思います。

8月5日は、林健センターで、室内ゲームで「卓球バレーやレクレーション」を予定しています。本サロンは、鶴ヶ岡在住の65歳以上の方なら、いつからでも参加いただけます。興味のある方は、鶴ヶ岡振興会までお電話ください。

鶴ヶ岡地域の企業、団体紹介

～(株)WorldLink&Company～

(株)WorldLink&Company(ワールドリンクアンドカンパニー)は、『ドローンと社会を正しくつなぐ』という使命のもと、機体販売、修理点検、教育、買取、受託運用、測量、空撮などドローンに関する一切を一気通貫する事業を展開しております。

旧鶴ヶ岡小学校を活用したドローンスクール運営や、地域の農家様のご協力を得て農業向けソリューションの開発、農業用機器の活用検証を行っております。これらによって鶴ヶ岡地域の産業活性化に貢献していきたいと日々尽力しております。



当面の予定

- ・ **7月29日（水） 京都銀行移動店舗車**
10：00～15：00 たなせん駐車場
- ・ **8月2日（日） 高校総体 自転車競技大会**
※宮島・平屋のコース周辺交通規制あり
- ・ **8月5日（水） まなづるサロン**
13：30～15：30 林健センター
- ・ **8月9日（日） 花づるの丘作業日**
8：30～
- ・ **8月15日（土）～24日（月） ミニ上げ松点灯**
夜間 鶴ヶ岡振興会前
- ・ **8月22日（土） 鶴ヶ岡夏まつり**
たなせん横駐車場
- ・ **8月28日（金） 京都銀行移動店舗車**
10：00～15：00 たなせん駐車場

熊注意

熊の出没情報が寄せられています。昼間の目撃情報も増えています。

外出や農作業の際は十分ご注意ください。
単独行動を避け、早朝・夕方の外出は控えましょう。

佳句への秘訣 小畑翠光

衣食住の考古学 「報恩講といとこ煮」

棚・砂木・栃原の真宗門徒では冬季（1月2月）に報恩講を執行していた。ごく最近まで三日間、本堂の仏具磨き、お華立て、逮夜、お朝仕、大逮夜、お講（お）ご満座と続く。ところが時代は変わり、全ての成人が家を離れて職業に就き、女性も就労が当たり前になっている。従って様々な伝統行事も簡素化できるものは基本となる部分は残す形で、みんなが出やすい形をとるようになってきた。二日間で済ませる。お講（お斎）という食事会もやめる等、負担は軽くなった。

お講（お斎）は大盛りのご飯、そして一汁三菜。この中に「いとこ煮」という料理があった。

「いとこ煮」のいわれは小豆に里芋や大根など煮えにくいものから順に（おいおい）入れていったことからとかけたと言われてきた。冬の副食として秋に収穫した野菜を材料に時間をかけた料理として重宝がられた。

これが報恩講の一品となったのには宗祖である親鸞上人との間に逸話があるのだろうか。

鶴ヶ岡句会

濃き嶺より雨を連れて来し

柿迫清子

初なりの胡瓜を先ずは御神撰

岡本和子

水落ちる音に暮れゆく薄暑かな

山崎マキ子

草でて音なき音を聞く

土井とし子

ミニトマト幼児独り占めして

小畑翠光

訃報

下田 敏晴 様が、令和8年6月20日、享年76歳にてご逝去されました。

故人は長年にわたり鶴ヶ岡振興会長を務められ、地域の発展とまちづくりに尽力されました。

そのご功績に深く感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。